

NEW PRODUCT RELEASE



鉄道事業者向けアオリ監視装置の開発および納入開始について (ER15 アオリ監視装置)

これまで、現地作業員が実施していた鉄道橋における鋼橋支点部の保守業務を自動化する「ER15 アオリ監視装置」を東日本旅客鉄道株式会社およびセイコーエプソン株式会社と共同開発、納入を開始いたしました。

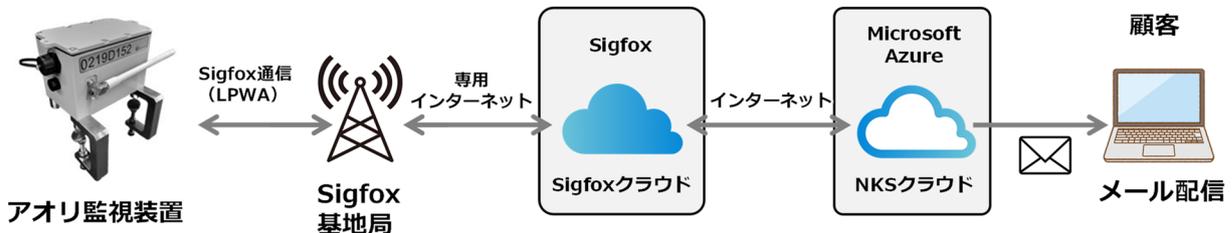
本製品は、列車が通過した際に桁が上下に動く変動量「アオリ」の大きさを自動で測定する装置です。計測結果は信号処理を行い管理しやすいデータに加工の上、電子メールで送信を行います。

アオリが発生すると支点部周辺部材に疲労き裂やボルトの緩みなどを誘発するため、アオリ監視は重要ですが、設備数が膨大であり、現地の作業員が直接すべてを監視することが困難となっています。本製品を用いることで現場に行かずにアオリを自動で測定できるようになり、これまで作業員に頼っていた監視作業の省人化が期待されます。

今後も設備保全業務の省人化・省力化に貢献する製品開発に取り組んでまいります。

【アオリ監視装置導入によるメリット】

- **タイムロスの解消**：常時設置で毎回現場に出向く必要がなくなるため、計測準備・移動・列車待ちなどの時間が削減できます。
- **検査困難箇所の解消**：他社線や高速道路との交差部など、頻繁に立ち入ることが難しい場所でも一度設置すれば計測可能です。
- **簡単取付**：ねじ2本とマグネットで容易に取り付けられます。
- **長寿命**：1週間に1回計測で4年間継続して使用できます。



- 対象機種：ER15 アオリ監視装置
- 通信方式：Sigfox (LPWA)